

本日午後、沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、感染状況や専門家会議の意見を踏まえ、発令中の感染拡大警報、現行の対処方針継続を確認しました。

沖縄県では、連休後に新規陽性者が急増して感染拡大が続いていることから、コロナ感染拡大警報を本島圏域、宮古圏域に発出し、感染対策の徹底をあらためて呼びかけてきたところでもあります。

5月26日まで引き続き、重点的に子どもたちを守るための取り組みをお願いします。

まず、登校前は健康状態をチェックし、症状が有る時は登校は控えてください。

部活動は、できる限りマスク着用の徹底やこまめに換気すること、着替える際には密にならないように順番を決めることを徹底して下さい。また、練習はいつものメンバーで行い、他校との練習試合は基本的には延期してください。

次に、学童や学習塾におきましては、換気を徹底して下さい。また、マスク着用、黙食など学校の教室に準じた対策を実施しましょう。学校や部活、塾が終わったらまっすぐ帰宅し、帰宅したら手洗いとうがいを徹底して下さい。

自宅においても友達と集まらないこと、また、自宅療養する場合に備え、市販薬やスポーツ飲料等を準備してください。子どもたちを感染から守るため、ご協力をお願いします。

疫学統計解析委員会の資料によると、連休後の約1週間における新規入院患者の50パーセント以上が70歳以上の方となっており、高齢者への感染拡大と重症化が懸念されます。また、基礎疾患のある方も高齢者と同様、感染すると重症化するおそれがあります。

高齢者の皆様や基礎疾患をお持ちの方は、できるだけ同居家族以外の方と会うのは控え、県民の皆様は多人数との会食などリスクの高い行動は避けてください。親戚、知人の方々は高齢者の家を訪問したり、一緒

に食事をすることはやめましょう。

なお、対策本部では、陽性者が発生した高齢者施設などの支援を行っております。現在、高齢者施設における感染が拡大していることから、一緒に施設を支援していただける看護補助者を募集しております。沖縄県のホームページに募集の詳細を掲載しておりますので是非ご覧ください。

妊婦は新型コロナウイルスに感染すると、重症化リスクが高まる可能性が報告されており、感染拡大が続いております。妊婦やその同居する家族等だけではなく、私たち県民全体で感染拡大を抑えましょう。

さて、県民一丸となった取り組みの一方で、5月18日時点の県全体における病床使用率は55.3%、先週水曜日と比較しますと2.2ポイント上昇し、連休後の5月6日以降は引き続き高い水準で推移しています。

また、非コロナ病床使用率も5月18日時点で94.7%と非常に高い状態が続いており、医療のひっ迫が続いています。また医療従事者の休職者も多くなり、医療機関は深刻な影響を受けております。

医療現場の現状については、沖縄県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の委員から、感染が拡大しながらも、社会経済活動を再開していく風潮に対して、医療従事者の負担感が増しているとの意見もありました。医療従事者の疲労はピークに達していると思われ、深刻に受け止めております。

そのような中、医療機関においては、夜間や休日に検査目的等、不急と思われる理由により救急病院を受診する事例が急増しております。救急外来は待ち時間が3時間を超えるなど、救急外来の負担となっております。

そのため、県民の皆さまには次のとおり、適正な救急受診をお願いいたします。

まず、コロナの検査のみを目的とした救急受診はお控えください。夜間、休日に急な子どもの病気対処に迷う場合は、小児救急電話相談#8000番へご相談ください。

症状が軽い場合には、薬局で購入できる医療用の抗原定性検査キットの活用や、市販薬等を服用することも可能です。

医療用の抗原定性検査キットは、ご自身で検査結果を確認することが出来ますので、陽性となった方をオンライン等で医療に繋げる為の「抗原定性検査・陽性者登録センター」を再開していますので、ご活用ください。詳細は県ホームページをご確認ください。

県民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

また、ワクチン接種は、重症化や入院予防効果等が期待されております。ご自身や周りの方、特に高齢者等ハイリスク者のためにも、1・2回目接種を含め3回目のワクチン接種がまだの方は、県や市町村で利用可能な会場での接種をぜひご検討下さい。

沖縄県では、さらなるワクチン接種を加速化させるため、6月4日土曜日、6月5日日曜日にイーアス沖縄豊崎にて県広域ワクチン接種センター臨時会場を設置し、県HPから予約を受け付けることができます。なお、予約無しでも3回目接種を受けることができますので、是非お出かけついでにご検討下さい。

3年振りにまん延防止等重点措置等のないゴールデンウィークを過ごしたあと、感染者数が高止まりする中においても、厳しい状況ながら医療提供体制を維持できていることは、県民の頑張りや医療従事者の皆様の献身的な努力によるものであると考えています。

感染対策と社会経済活動を維持していくことの難しさを痛感しておりますが、安全、安心にできるだけ普段の社会生活を送りたいという県民の皆様の期待は膨らんできていると認識しております。

コロナ禍において社会経済活動を維持し続けるためには、県の感染対策はもとより、県民一人一人、事業所の一つ一つ、あらゆる場面で基本的な感染対策の徹底を実践していくことこそが大事だと考えております。

引き続き感染拡大防止に全力で取り組んで参りますので、今一度、県民の皆様においては気を引き締めていただき、感染対策の徹底をよろしくをお願いします。